

福井県産トンボ数種について

長田 勝*

1985年9月に福井県の「みどりのデータバンク」事業の一環として、『福井県昆虫目録』が刊行された。筆者が担当したトンボ目では12科89種を記録したが、このうちの5種は福井県未記録であった。すなわち、ホソミイトンボ、フタスジサナエ、マルタンヤンマ、ナニワトンボ、マダラナニワトンボで、いずれも福井市立郷土自然科学博物館の所蔵標本である。それぞれの標本の採集データは『目録』に記載したが、ここでは博物館に保管されている標本の状態を記述しておく。

1. ホソミイトンボ *Aciagrion migratum* Selys (写真1)

現存する標本は1♂で、後翅長は約19.5mm、腹長は約28mmである。標本の青色部は色褪せているが、保存状態は良い。ラベルは「オニケ谷 昭和26年5月24日 井崎市左エ門採集」と記されている。「オニケ谷」は福井県小浜市下根来鬼ヶ谷のこと、故井崎市左衛門氏の採集品にはこの地名が記された標本が多い。

2. フタスジサナエ *Trigomphus interruptus* Selys (写真2-4)

現存する標本は1♂2♀で、後翅長、腹長、ラベルの内容は次のとおりである。

1♂：後翅長は約25.5mm、腹長は約33.5mm、ラベルは「小浜市遠敷区 昭和26年5月6日 井崎市左エ門採集」、1♀：後翅長は約30mm、腹長は約33.5mm、ラベルは「小ママ、ハガ 昭和26年5月5日 井崎市左エ門採集」、1♀：後翅長は約28.5mm、腹長は約32.5mm、ラベルは「小ママ、ハガ 昭和26年5月6日 井崎市左エ門採集」。

いずれの標本も保存状態は良好で、胸部の斑紋も明瞭である。ラベルに記されている「ハガ」は小浜市羽賀のこと、同地は国鉄小浜駅より北東約3Kmの所である。

本種は、関西トンボ談話会の「近畿のトンボ」(1984)の分布図をみるとコサナエとのすみ分け傾向が認められるが、小浜市付近では混生している可能性もあり、精密な分布調査が必要であろう。

3. マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini* Selys (写真5)

現存する標本は1♀で、後翅長は約49.5mm、腹長は約62mmである。ラベルは「オニフ 昭和9年7月20日 井崎市左エ門採集」と記されている。標本の保存状態は良好である。胸部腹面を切開した痕跡がみられ、内臓を除去してから展翅したのであろう。「オニフ」は小浜市遠敷(おにゅう)のことである。

*福井市立郷土自然科学博物館

4. ナニワトンボ *Sympetrum gracile* Oguma (写真6)

現存する標本は1♂で、後翅長は約28mm、腹長は約24.5mmである。ラベルは「小浜市遠敷区 下根来鬼ヶ谷 昭和26年7月10日 井崎市左エ門採集」と記されている。標本は成熟した個体と思われ全体が黒化しているが、成熟♂の特徴である青白粉は失われている。標本作製時に胸腹部に刺す芯が顔面から刺しこまれている。鉄製の虫ピンを使用しているため鋸びている。

本種は前出の「近畿のトンボ」によると“平地、丘陵地の松などが繁っている池の周囲に見られる”とのことであるが、小浜市下根来鬼ヶ谷に本種が発生するような池があるかどうか、筆者は未調査である。

5. マダラナニワトンボ *S. maculatum* Oguma (写真7)

現存する標本は1♂で、後翅長は約26.5mm、腹長は約24mmである。ラベルは「小浜マ 昭和26年7月10日 井崎市左エ門採集」と記されており、前種と同じ日の採集品である。標本は未熟の個体で、胸部は乾燥時に若干萎縮したようであるが、斑紋は明瞭である。この標本も前種と同様、芯が顔面から刺しこまれている。また、鉄製の虫ピンを使用しているため鋸びている。

本種は最近、石川県小松市安宅新で発見されており（中山、1986），本県でも再確認が望まれる。

前述のように筆者は『目録』で福井県産トンボを89種記録したが、『目録』と同時に刊行された『福井県の陸水生物』の中で水生昆虫を担当された前田正紀氏は、南条郡今庄町榎谷川のモイワサナエ *Davidius moiwanus* Okumuraを記録している。榎谷川のものは恐らく幼虫を同定したと思われるが、北陸地方では石川県から記録があり（朝比奈、1977），最近、富山県でも亜種 *taruui* が2♂採集されており（鈴木ら、1985），本種を含めると福井県で記録されたトンボは90種となる。

引用文献

- 朝比奈正二郎, 1977. 石川県産のモイワサナエについて. TOMBO, 20(1-4): 30.
関西トンボ談話会, 1984. 近畿のトンボ. 170 pp.
前田正紀, 1985. 福井県の河川における水生昆虫類. 福井県自然環境保全調査研究会陸水生物部会編「福井県の陸水生物」: 59-65.
中山佐一郎, 1986. 小松市とその周辺のトンボについて(第4報). 小松市立博物館研究紀要, (23): 7-10.
鈴木邦雄・根来尚・板倉範枝, 1985. 富山県のトンボ相. 富山市科学文化センター研究報告, (8): 52.

福井県産トンボ数種について

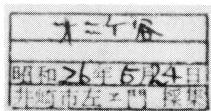
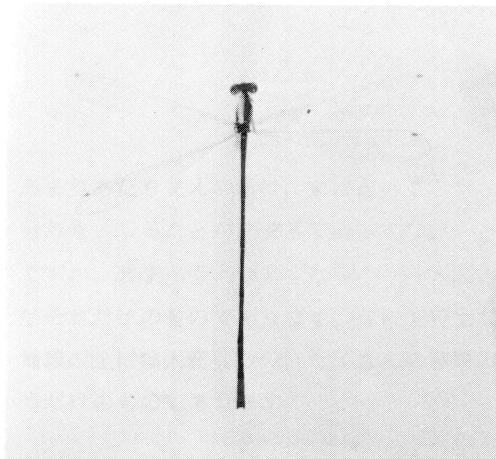


写真1. ホソミイトンボ♂とそのラベル

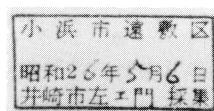
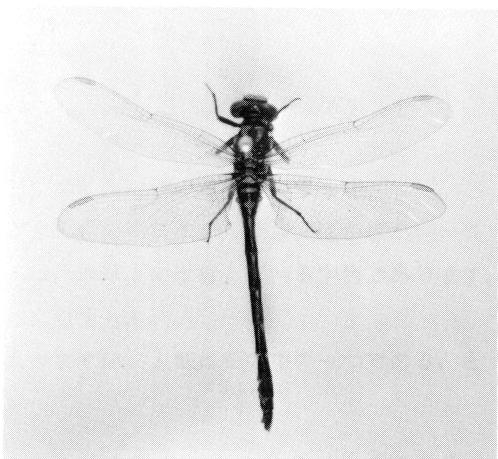


写真2. フタスジサナエ♀とそのラベル

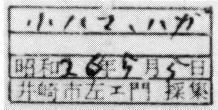
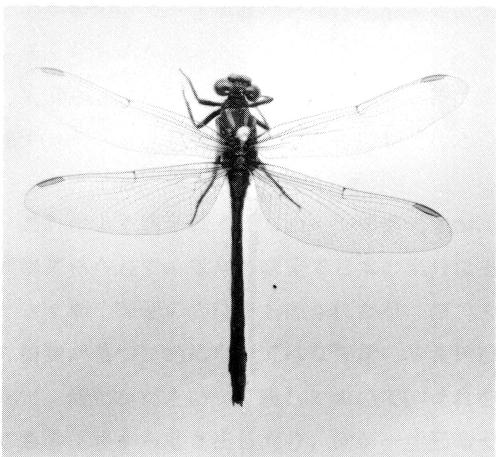


写真3. フタスジサナエ♀とそのラベル

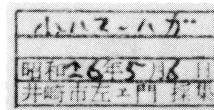
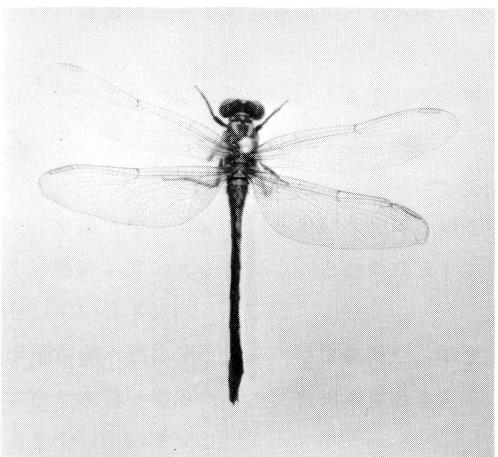


写真4. フタスジサナエ♀とそのラベル

長田 勝

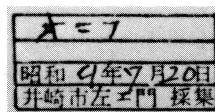
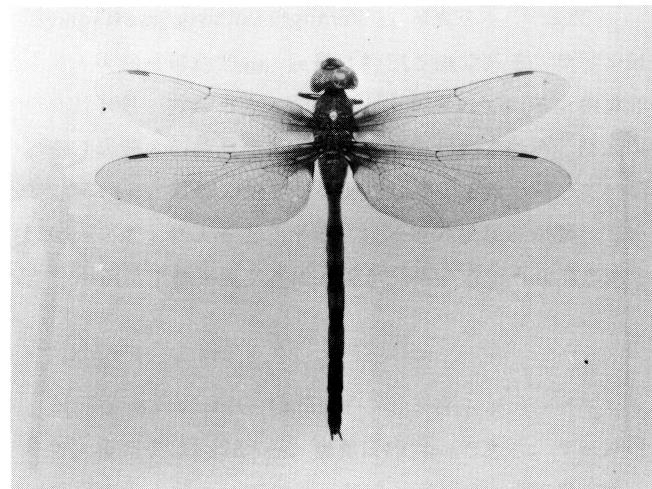


写真 5. マルタソヤンマ♀とそのラベル

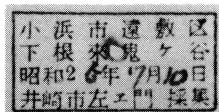
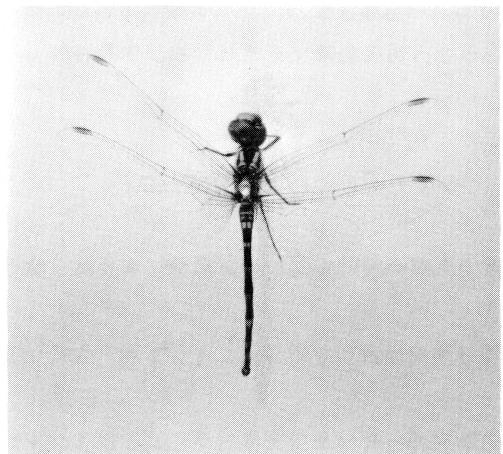
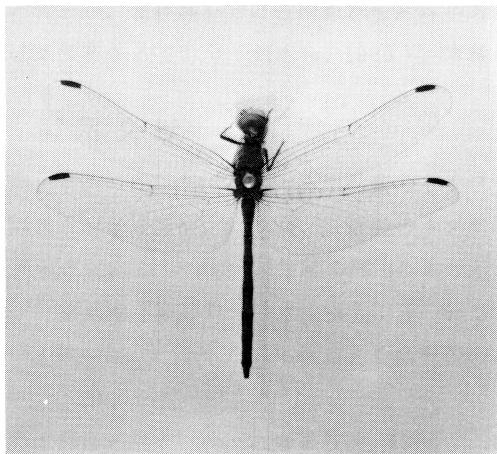


写真 6. ナニワトンボ♂とそのラベル

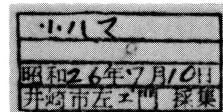


写真 7. マダラナニワトンボ♂とそのラベル